



優秀賞



インフラ整備・道路維持についてレーシングマシンでPR（令和7年7月5日ENEOS スーパー耐久シリーズ2025 SUGO戦より）

道路分野

モータースポーツを活用した担い手育成と イメージアップ広報活動

取組概要

2021年度より、同社は建設業における担い手育成ならびにインフラ維持管理の重要性を広く社会に発信すべく、「道路維持管理を伝えるレーシングチーム」の結成に向けたプロジェクトを始動した。本プロジェクトでは、同社が実際に道路維持管理業務にて運用している道路パトロールカーの意匠を模したデザインの車両を用いて、モータースポーツという非日常空間に参戦することで、建設業界外の幅広い層に対して視覚的かつ直感的な情報発信をしている。

受賞理由

モータースポーツを通じてインフラ維持管理の重要性を社会に発信する画期的な取り組みであり地元の大学、企業と連携し、地域住民も巻き込みながら、分野を超えて広くPRを実施していることが評価された。

取組のポイント

本プロジェクトは、建設業界とモータースポーツを融合させた業界初の広報活動である。道路パトロールカーを模したレーシングカーによる視覚的インパクトで注目を集め、若年層を含む幅広い層に業界の魅力を訴求している。また、実務経験を有する社員がドライバーとして参画し、建設現場のリアルな声を社会へ伝えることで、インフラメンテナンスへの理解と関心を促進している。

受賞者について



栄建設株式会社
代表取締役社長 佛田 尚史

受賞者

栄建設株式会社

コメント

この度は栄えある賞を賜り、誠に光栄に存じます。モータースポーツ活動という挑戦が、地元大学や企業、地域住民の皆様との協働により実現できたこと、そしてこのような形で評価いただけたことを心より感謝申し上げます。建設業界の担い手確保という課題と地域課題の双方に向き合いながら、今回の取り組みが一つの道筋となることを願い、引き続き業界の魅力発信と地域のインフラ維持管理に貢献してまいります。

団体概要

1963年創業、岩見沢市を拠点に北海道の社会基盤整備を担う総合建設会社。一般土木・農業土木工事から道路維持管理、除排雪作業、警備業務まで幅広く事業を展開。「地域の安全・安心を守る」を使命とし、4代にわたり蓄積した現場ノウハウに技術改善を重ねながら、北海道特有の厳しい気象条件下でのインフラ維持管理に従事。次世代への技術継承と働きやすい職場環境づくりにも注力するとともに、「建設業にPRを！」をスローガンに業界のイメージ向上に取り組んでいる。

問い合わせ先

栄建設株式会社
TEL: 0126-23-0110 / FAX: 0126-24-6133
担当: 東海 (090-6703-1522)
Mail: y-toukai@sakae-con.net